

エコマネジメント長野 林務部環境方針

林務部は、「エコマネジメント長野 環境方針」及び「長野県気候危機突破方針」を踏まえ、省資源・省エネルギーの取組を徹底するなど、事業活動に伴う環境負荷への低減に努めるほか、施策の推進に当たっては最大限環境に配慮し、持続可能な脱炭素社会の実現に向けて取り組みます。

1 事務の効率化の推進

- (1) 職員一人ひとりが業務の進め方の見直しを行うことにより、効率的な働き方に取り組みます。
- (2) Web会議、会議資料のペーパーレス化、電子決裁を推進し、省資源化に努めます。
- (3) 公用車使用時のエコドライブ、庁舎等における節電の徹底的により、省エネルギーに取り組みます。

2 環境に配慮した事業の推進

森林は、山崩れ等の自然災害の防止や水を貯える水源涵養の機能のほか、二酸化炭素を光合成より吸収して炭素を固定する機能があり、地球温暖化の防止や循環型社会の形成に重要な役割を果たしています。

林務部では、主に次の事業をはじめとした森林の整備や森林資源の活用を通じて、脱炭素に取り組みます。

(1) 森林の環境サイクルの推進

間伐等の森林整備や主伐・再生林の着実な実施、それにより生産される木材の利用など「伐って、使って、植えて、育てる」という森林の循環サイクルを促進することにより、二酸化炭素吸収・固定量の着実な確保・増加を目指します。

(2) 県産材利用の推進

「長野県産木材のロゴマーク・キャッチフレーズ」を活用し県民の皆様の認知度の向上とともに、身近な生活用品等を木質製品へ転換する「ウッドチェンジ」の取組を進めます。

また、再生可能な資源である木質バイオマスの利用を促進します。



(3) みんなで支える森林づくりの推進

県民協働による里山の整備と利活用を進めるとともに、地域の森林づくりへの企業の参加を仲介する「森林づくり（もり）の里親制度」等により、みんなで支える森林づくりを進めます。

令和7年4月1日

長野県林務部長 根橋 幸夫